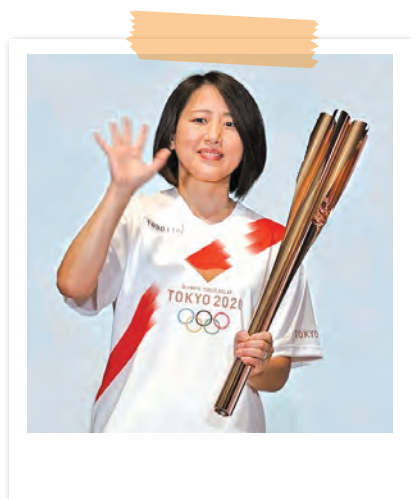


東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

羽村市取組報告書



東京都 羽村市

刊 行 に あ た っ て



令和 3 年（2021 年）9 月 5 日、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会が幕を閉じました。オリンピックでは 58 個、パラリンピックでは 51 個のメダルを獲得する等、日本選手団の目覚ましい活躍により、勇気と感動を与えてくれた大会となりました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、大会が 1 年延期となる等、これまでに経験したことのない状況下での開催となり、安全・安心な大会運営のために数多くの困難を乗り越えてきたことと思います。すべての関係者の皆さまに「ARIGATO」の言葉を申し上げさせていただきます。

さて、羽村市は、平成 25 年（2013 年）のオリンピック・パラリンピック招致決定後、東京都オリンピック・パラリンピック準備局に職員を派遣し、平成 28 年（2016 年）4 月には企画総務部内に東京オリンピック・パラリンピック準備室を設置する等、いち早く東京 2020 大会の成功に向けた準備を始め、開催都市「TOKYO」の一員としての役割を果たすべく、これまで取り組んでまいりました。

ここに、この間の羽村市の取組みを『東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 羽村市取組報告書』として取りまとめましたので、ご一読いただければ幸いです。

これからも、持続可能な都市として、この東京 2020 大会をきっかけに生まれたレガシーを共生社会の実現につなげ、誰もが自分らしく生きることができるくらしやすいまちを創り上げていけるよう力を尽くしてまいります。

令和 3 年（2021 年）12 月

羽 村 市 長 橋 本 弘 山



HOST CITY

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 羽村市取組報告書



ミライトワ
MIRAITOWA



ソメイティ
SOMEITY

目 次

1. 取組基本方針の策定	- 6 -
2. 気運醸成事業の実施	- 6 -
(1) 市主催事業等に合わせた気運醸成ブースの出展	- 6 -
(2) 節目イベント等の開催	- 9 -
(3) 市民体育祭へのオリンピック・パラリンピアン招致	- 11 -
(4) 展示事業の実施	- 13 -
(5) 広報紙等による啓発	- 14 -
(6) 出前講座の実施	- 15 -
(7) 東京 2020 大会関連マーク等による装飾	- 16 -
(8) 東京都・（公財）東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 との連携	- 17 -
3. 事前キャンプ誘致事業の実施	- 19 -
(1) 事前キャンプの誘致・受入れ	- 19 -
(2) ホストタウン関連事業等の実施	- 21 -
4. 各種団体等との連携・協力（主なもの）	- 26 -
5. ボランティア意識の醸成	- 28 -
(1) ボランティア活動	- 28 -
(2) その他	- 28 -
6. 市立小・中学校における取組み	- 29 -
7. 東京 2020 大会開催時等の取組み	- 35 -
(1) 東京 2020 オリンピック聖火リレー	- 35 -
(2) 東京 2020 パラリンピック聖火リレー	- 36 -
(3) その他	- 36 -

8. レガシー創出	- 37 -
(1) ハード面でのレガシー	- 37 -
(2) スポーツ習慣の定着	- 37 -
(3) パラスポーツの普及	- 38 -
(4) 持続可能な資源利用の推進	- 38 -
(5) キルギス共和国との交流	- 39 -
(6) 豊かな国際感覚の醸成	- 39 -
(7) ボランティア意識の高揚	- 40 -
(8) 共生社会の実現に向けて	- 40 -

資料

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の概要等	42
羽村市における東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に関する 取組基本方針	43
東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会庁内検討委員会設置要綱	44
東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会庁内検討委員会の開催	45
オリンピック・パラリンピック関連事業費等（招致決定以降）	46
オリ・パラ通信	47
東京 2020 公認プログラム認証事業	49
広域連携	56

※表紙の写真は羽村市ゆかりの聖火ランナーの皆さん（P35・36 参照）

(左上から、中野修さん・柿田和江さん・菅原武男さん・笹本弘子さん・三田りょうさん)

1. 取組基本方針の策定

羽村市では、平成 25 年の「TOKYO」への招致決定以降、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催都市の一員として、大会気運を高める取組み等を始め、平成 28 年の東京オリンピック・パラリンピック準備室の設置を機に、大会の成功とレガシー創出に向けた市の方針（資料参照）を定め、取組みをさらに進めました。

2. 気運醸成事業の実施

(1) 市主催事業等に合わせた気運醸成ブースの出展

① 環境フェスティバル（第 5 回～第 8 回の 4 回出展）

ゆとろぎ前の道路周辺で、パラリンピック競技紹介パネル等の展示とともに、ブラインドサッカーやボッチャのミニ体験会を実施。



② 障害者スポーツ・レクリエーションのつどい（第 36 回～第 39 回の 4 回出展）



スポーツセンター内の会場に通じる廊下で、パラリンピック競技紹介パネル等の展示とともに、ボッチャのミニ体験会を実施。

③ 夏まつり（第 41 回～第 44 回の 4 回出展）

節目イベントの内容に活かすための来場者へのアンケート調査を実施したり、パラリンピック競技紹介パネル等の展示やボッチャのミニ体験会を実施。



④ 市民体育祭（第 67 回～第 71 回の 5 回出展）



事前キャンプ誘致 PR パネル等の展示やボッチャのミニ体験会を実施。

⑤ 産業祭（第 45 回～第 51 回の 7 回出展）

第 49 回と 50 回の会場では、杏林大学の学生の皆さんのアイディアによる「オリ・パラクイズ」の実施や「応援メッセージボード」の作成等、連携して東京 2020 大会の気運を高める活動を実施。



⑥ 子どもフェスティバル（平成 28 年度～令和元年度の 4 回出展）



事前キャンプ誘致 PR パネル等の展示を行うとともに、ブラインドサッカーやボッチャのミニ体験会を実施。

⑦ 駅伝大会（第 36 回・第 37 回の 2 回出展）

羽村市ゆかりのオリンピック紹介パネル等の展示を行うとともに、ボッチャのミニ体験会を実施。



⑧ 日野自動車(株)羽村工場さくらまつり（第 29 回・第 30 回の 2 回出展）



羽村市ゆかりのオリンピック紹介パネル等の展示を行うとともに、ボッチャや車いすバスケットボールのミニ体験会を、日野自動車(株)と連携して実施。

⑨ その他

ジェイテクトバレーボール教室・はむすぽ満 10 年記念交流会・はむら健康の日・ふれあい福祉まつり等の各イベント会場で、オリンピック・パラリンピックの気運を高める活動を実施。



西多摩連携による気運醸成ブース出展

西多摩地域の市町村が連携して、カヌーやボッチャのミニ体験会やオリンピック・パラリンピック関連チラシの配布等を 2 回実施。



(2) 節目イベント等の開催

① 1964年東京オリンピック・パラリンピック50周年記念事業



平成27年1月24日(土) ゆとろぎ大ホール
佐藤真海さんトークショー「夢を跳ぶ」
～パラリンピックアスリートの挑戦～

来場者 約500人

※1964年オリンピック・パラリンピック関連
展示も実施。

② 東京2020パラリンピックを応援しよう!1000日前ウィーク in 羽村 (イベント1)

平成29年11月24日(金)～30日(木)
市役所 1階 市民ホール
パラリンピック写真家 清水一二氏 報道写真展
来場者 約700人



③ 東京2020パラリンピックを応援しよう!1000日前ウィーク in 羽村 (イベント2)



平成29年11月29日(水)
武蔵野小学校 体育館
パラリンピアン 根木慎志氏
車いすバスケットボール体験会・トークショー
参加・来場者 約400人

④ 東京2020パラリンピックを応援しよう!2年前イベント in 羽村

- 平成30年8月25日(土) スポーツセンター 第1ホール・前庭
パラリンピアン 池崎大輔 選手・池 透暢 選手
杏林大学 一場友実 准教授・学生、日野自動車㈱、コカ・コーラ社
- ① 車いすラグビー体験会・トークショー ② ボッチャ体験 ③ VR フェンシング
④ 出展ブース(羽村市、日野自動車㈱、コカ・コーラ社) 参加・来場者 約300人



⑤ 東京 2020 大会を応援しよう! 1 年前イベント in 羽村

令和元年 9 月 7 日 (土) スポーツセンター 第 1・第 2 ホール・前庭
パラリンピアン 大西 瞳 選手・義肢装具士 臼井二美男 氏

杏林大学 一場友実 准教授・学生、日野自動車(株)、コカ・コーラ社

- ① 義足体験・トークショー ② ボッチャ体験 ③ VR フェンシング
④ 出展ブース (羽村市、日野自動車(株)、コカ・コーラ社)

参加・来場者 約 450 人



⑥ 東京 2020 大会を応援しよう! 半年前イベント in 羽村

令和 3 年 1 月 17 日 (日)

ゆとろぎ 小ホール

オリンピック 千葉真子さん 講演

「命を輝かす人間」

YouTube によるリアルタイム配信。

最大視聴数 70 件



⑦ その他

人権週間、障害者週間、男女共同参画週間に合わせたパラリンピック
関連展示の実施。また、男女共同参画講演会や杏林大学の学生の皆さんの
協力による 1964 年と 2020 年のオリンピック・パラリンピックを比較
する講座等を開催。



(3) 市民体育祭へのオリンピック・パラリンピアン招致

① 平成 27 年 10 月 11 日（日） 第 68 回市民体育祭 参加者 4,288 人

◆ オリンピアン 大島めぐみ さん

シドニー2000 オリンピック 陸上競技 女子 5,000m 日本代表

アテネ 2004 オリンピック 陸上競技 女子 10,000m 日本代表

➤ スターターやリレー等に出走。走り方講座等の開催。



② 平成 28 年 10 月 9 日（日） 第 69 回市民体育祭 参加者 3,981 人

◆ オリンピアン 澤野大地 選手

リオ 2016 オリンピック 陸上競技 男子棒高跳び 7 位入賞

➤ スターターやリレー等に出走。

➤ サイン会及び日本代表ユニフォーム展示等の実施。



③ 平成 29 年 10 月 8 日（日） 第 70 回市民体育祭 参加者 5,029 人

◆ オリンピアン 猫 ひろし 選手

リオ 2016 オリンピック 陸上競技 男子マラソン カンボジア代表

◆ パラリンピアン 辻 沙絵 選手

リオ 2016 パラリンピック 陸上競技 女子 400m 銅メダリスト

➤ スターターやリレー等に出走。写真撮影会等の実施。



④ 平成 30 年 10 月 7 日（日） 第 71 回市民体育祭 参加者 4,240 人

◆ オリンピアン 藤光謙司 選手

リオ 2016 オリンピック 陸上競技 男子 200m 日本代表

◆ パラリンピアン 山本 篤 選手

リオ 2016 パラリンピック 陸上競技 男子走り幅跳び 銀メダリスト

男子 4×100m リレー (T42-47) 銅メダリスト

➤ スターターやリレー等に出走。写真撮影会等の実施。



羽村市ゆかりのオリンピック

菅原武男さん
オリンピックに 4 回出場



笹本(旧姓:小林)弘子さん
オリンピックに 2 回出場



(4) 展示事業の実施

① 常設展示

令和2年6月から令和3年9月まで、市役所1階市民ホールの一角を利用し、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連展示コーナーを設置。

羽村市ゆかりのオリンピックである菅原武男さんと笹本弘子さんの紹介パネル等を展示。



② 特別展示（全8回）

キルギス柔道チーム応援展示、郷土博物館に収蔵している東京1964大会の聖火リレートーチとユニフォームの展示、パラリンピック応援展示等を展示コーナーで実施。



③ 東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグ巡回展示（全3回）

オリンピックフラッグとパラリンピックフラッグが都内62市区町村を巡回。

フラッグ歓迎セレモニー終了後等に、市役所1階市民ホールで実施。

観覧者 延べ約2,400人



④ 東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレートーチ巡回展示



オリンピック聖火リレートーチとパラリンピック聖火リレートーチが都内62市区町村を巡回。

令和2年12月に市役所1階市民ホールで実施。

観覧者 延べ約400人

⑤ ゆとろぎにおける展示（全2回）

令和元年8月に開催した「羽村市・キルギス共和国友好親善コンサート」に合わせて、キルギス共和国の人々の伝統や暮らし等を紹介。

令和2年12月には、遊牧民の移動式住居「ユルタ」の組立て・解体ワークショップに合わせてキルギス共和国関連展示を実施。



⑥ 図書館における展示（全5回）

オリンピック・パラリンピックに関連した図書や市民から選手への応援メッセージの紹介、キルギス共和国との交流事業等に合わせた、図書館独自の展示等を実施。



(5) 広報紙等による啓発

① オリ・パラ通信

平成29年4月から令和3年9月まで、広報はむらに「オリ・パラ通信」と題して、オリンピック・パラリンピック競技を紹介する記事等、男女共同参画週間・障害者週間の特別号を含め、全57回掲載。

（資料参照）



② 広報はむら

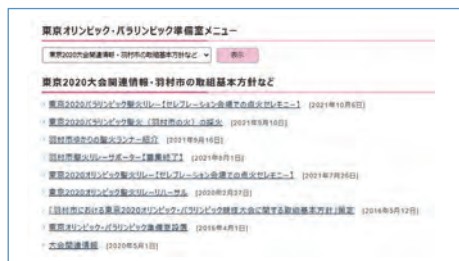


節目イベントの開催等のお知らせとともに、キルギス共和国を市民の皆さんに知ってもらうための特集記事や、パラリンピックの特徴やボッチャ競技の内容等を、子どもたちにも知ってもらうための記事等を掲載。

③ 羽村市公式サイト

節目イベントの開催等のお知らせとともに、東京 2020 大会関連情報や、事前キャンプ・ホストタウン等の取組みをわかりやすく紹介。

また、期間限定で、「東京 2020 大会」特設 WEB サイトを開設し情報を発信。



④ テレビはむら



節目イベントの開催やキルギス共和国男子柔道ナショナルチームの事前キャンプ実施の様子等を紹介。

⑤ きずな

市民活動の情報紙「きずな」にも、東京 2020 大会やボランティア関連情報等を掲載。



(6) 出前講座の実施

町内会・自治会や市民団体を対象に、ボッチャ簡易版の体験会やパラリンピック競技の紹介等、生涯学習まちづくり出前講座として延べ 10 回開催。



(7) 東京 2020 大会関連マーク等による装飾

東京 2020 大会の開催気運を高めるため、懸垂幕、横断幕、のぼり旗等の装飾品を以下のとおり公共施設等に掲出。

① 東京 2020 オリンピックエンブレム／東京 2020 パラリンピックエンブレム



市役所をはじめ公共施設の入口等に、東京 2020 エンブレム入りののぼり旗等を掲出。
また、イベント時等の出展ブースにおいて、エンブレム入りの東京 2020 大会広報 PR 用 バッジを来場者に配布。

② Go For 2020! Graphics –HANABI–

スポーツセンターの外壁に懸垂幕、
第 1 ホール観客席に横断幕を掲出。
市役所入口等にのぼり旗を掲出。



③ 東京 2020 オリンピックマスコット／東京 2020 パラリンピックマスコット



コミュニティセンターをはじめ
公共施設のロビー等に、東京 2020
マスコットポスターを掲出。

④ コアグラフィックス

図書館書棚周辺、スポーツセンター
第 1 ホール、郷土博物館正面入口周辺
等に、のぼり旗や横断幕を掲出。



(8) 東京都・(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会との連携

① 東京都パラリンピック体験プログラム「NO LIMITS CHALLENGE」

パラリンピック競技の認知度向上や東京 2020 大会の開催気運を盛り上げるため、東京都が展開している体験プログラム。

羽村市では産業祭と同時開催で、車いすテニス体験会等、富士見公園内で 3 回（平成 28 年度・29 年度、令和元年度）開催。



② みんなでラジオ体操プロジェクト

都民の健康増進等を目的に、ラジオ体操の実施を広める東京都の取り組みで、羽村市でも、“はむら”の魅力満載の楽しい動画 3 作品を制作し、「東京動画」で配信。

「みんなでラジオ体操プロジェクト」動画コンクールにおいて、優れた作品として入賞。



③ 東京 2020 オリンピック・パラリンピック フラッグツアー

オリンピックフラッグ・パラリンピックフラッグが都内 62 市区町村を巡回。

羽村市でも、フラッグの到着を歓迎するセレモニーを、第 35 回羽村市駅伝大会（平成 29 年 3 月 5 日）と同時開催。



④ 都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト



東京 2020 大会で使用する金・銀・銅メダル約 5,000 個を、使用済み携帯電話等から出るリサイクル金属でつくるプロジェクト。

公共施設とイベント開催時の出展ブースに専用回収ボックスを設置。

回収量 携帯電話・スマートフォン 755 個

⑤ 東京五輪音頭-2020-

1964 年に流行した「東京五輪音頭」を東京 2020 組織委員会がリメイク。

町内会・自治会等へ CD・DVD を配布。

羽村市舞踊連盟の指導による踊り方講習会を 3 回開催。参加者 延べ約 260 人



⑥ 東京 2020 参画プログラム



文化事業やスポーツ事業等、東京 2020 大会を盛り上げる事業の認証制度。

開催都市等が実施する「東京 2020 公認プログラム」と非営利団体等が実施する「東京 2020 応援プログラム」の 2 種類。

羽村市の公認プログラム認証件数 167 件（平成 28 年度～令和 3 年度）（資料参照）

⑦ ハンマー投げ三鉄人会談

東京 2020 組織委員会との綿密な打合せにより、羽村市ゆかりのオリンピックである菅原武男さんと室伏重信さん・広治さん親子とのハンマー投げ三鉄人の会談が実現。

日刊スポーツ朝刊にも掲載。



3. 事前キャンプ誘致事業の実施

(1) 事前キャンプの誘致・受入れ

① 合意書締結



令和元年 7 月 4 日、キルギス共和国ビシュケク市において、キルギス共和国柔道連盟と「2019 世界柔道選手権」と「東京 2020 オリンピック」での事前キャンプ実施の合意書を締結。

※オリンピックでの事前キャンプは中止。

② 事前キャンプ受入れ



平成 30 年 11 月、東京 2020 オリンピック事前キャンプの視察を兼ねた、キルギス共和国男子柔道ナショナルチームによる「柔道グランドスラム大阪 2018」事前キャンプを受入れ。

令和元年 8 月には、「2019 世界柔道選手権」事前キャンプを受入れ。

スポーツセンター第 3 ホール等で、トレーニング及びコンディショニング調整。

市内事業者コカ・コーラ社から飲み物を、農家の皆さんからは野菜を差入れ。



③ 交流事業の実施

歓迎セレモニーの開催、羽村市柔道会の子どもたちとの合同稽古、東京都立羽村高等学校でのトレーニング等、多くの市民の皆さんと交流。

キルギス共和国との親交を深めるため、平成 30 年 11 月の歓迎セレモニーの中で、同国に造詣が深い歌手の三田りょうさんを「羽村市ーキルギス共和国友好親善ボランティア大使」として委嘱。



④ 観光誘致を兼ねた取組み

事前キャンプの誘致にあたり、東京都、東京 2020 組織委員会及び全国知事会が開設した事前キャンプ候補地ガイド等の WEB サイトに、スポーツセンターや市内宿泊施設を登録し、情報を発信。

また、羽村市を PR するため、市公式 PR サイトの一部多言語化を行うとともに、アジア地域のスポーツ誌や旅行ガイドブック等への PR 記事掲載、スポーツイベントにおける PR チラシ配布、メディア等招致による PR を実施。

さらに、訪日観光客向け羽村市ガイドマップ（6 言語）も作成・配布。



(2) ホストタウン関連事業等の実施

① 羽村市－キルギス共和国友好親善ボランティア大使（三田りょうさん）

在日キルギス共和国大使館への橋渡し、合意書締結式でのミニコンサートや事前キャンプ実施に合わせた「羽村市・キルギス共和国友好親善コンサート」の開催、事前キャンプ実施時の各種サポート等、友好を深めるため精力的に活動。ホストタウン功労者として、国から感謝状を授与。



② ホストタウン登録



東京 2020 大会をきっかけに、相手国等との人的・経済的・文化的な相互交流を行う地方公共団体を、国が「ホストタウン」として登録するもの。

羽村市は、令和元年 6 月にキルギス共和国のホストタウンとして登録。

③ 企画展示「オリンピック・パラリンピック」と「キルギス共和国」1 Year to Go!

東京 2020 大会の開催気運を高めるため、1 年前となる令和元年 8 月～9 月に、オリンピック・パラリンピック関連書籍とキルギス共和国・中央アジア関連書籍を展示した、図書館独自の企画。



④ 「キルギスの伝統や暮らしが感じられる展示」



令和元年 8 月の友好親善コンサート開催に合わせた、遊牧民の移動式住居「ユルタ」や民族衣装等の展示。子ども向けにキルギス共和国の国旗をつくるワークショップも開催。写真は、事前キャンプ中の柔道チームの協力による「ユルタ」組立ての様子。

入場者（5 日間） 延べ約 1,000 人

⑤ 「羽村市・キルギス共和国友好親善コンサート ～草原の風を感じて～」

令和元年 8 月、キルギス共和国の全盲の歌手
グルムさん、民俗楽器演奏者カリマンさん、民俗
舞踊ダンサーをお招きし、歌手の三田りょうさん
といっしょに、ゆとろぎ大ホールでコンサートを
開催。事前キャンプ中の柔道チームも鑑賞。

入場者 約 670 人



⑥ 世界の文化講座「キルギス共和国の食文化を知ろう！」



令和元年 8 月、コミュニティセンター
で、中央アジアやキルギス共和国の歴史や
食文化について紹介。外国籍市民の皆さん
とも交流。 参加者 35 人

⑦ 世界の文化講座「キルギス共和国のおいしい料理を作ろう！」

令和元年 10 月、コミュニティセンター
で、中央アジアやキルギス共和国の料理の
紹介と調理を実習。外国籍市民の皆さんと
も交流し、おいしい料理を試食。

参加者 20 人



⑧ 羽村市文化祭第 50 回記念特別企画「文化講演会」

キルギス共和国を知る ～キルギス共和国の人々と暮らし～



令和元年 10 月、ゆとろぎ小ホールに、
元在キルギス共和国日本国大使館特命全権
大使の小池孝行さんをお招きし、キルギス
共和国の人々の暮らしや自然・歴史等につ
いて講演。 入場者 135 人

⑨ 応援メッセージブック

令和2年10・11月に、キルギス共和国男子柔道ナショナルチームへの応援写真やメッセージを募集したところ、市民の皆さんから100件を超える応募があり、関係者の写真を含め、これら全てを本としてまとめ、柔道チーム等に贈呈。



⑩ ユルタ組立て・解体ワークショップ



令和2年12月、ゆとろぎ展示室で、市民の皆さんと市職員等合わせて約20人が、在日キルギス人のティムルさんの指導のもと、遊牧民の移動式住居「ユルタ」の組立て・解体を体験。

⑪ キルギス共和国国歌斉唱

事前キャンプ受入れ時のおもてなしとして始まった市民の皆さんによる国歌の練習。コロナ禍の影響で事前キャンプが中止となってしまったため動画を撮影して市公式動画チャンネル（YouTube）で配信。

キルギス共和国柔道連盟への周知等、この動画のキルギス共和国へのPR効果で、配信初日から3日間で視聴回数が1,000回超。



⑫ 応援メッセージポスター

図書館が募集し、館内に展示したキルギス共和国柔道選手への応援メッセージ139通を、デザインポスターにして東京2020オリンピックに出場したゾロエフ選手へ送信。



⑬ オンライン交流

事前キャンプが中止となり、予定していた交流事業もできなかったため、令和3年10月、東京2020オリンピックに出場したゾロエフ選手らと羽村市柔道会の子どもたちとのオンライン交流を実施。

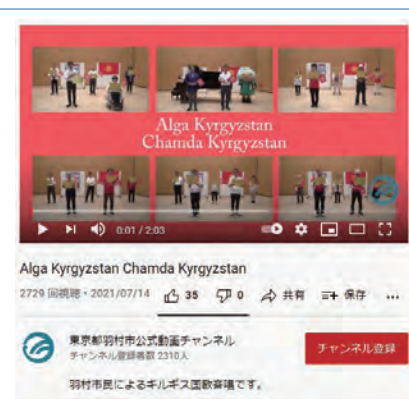
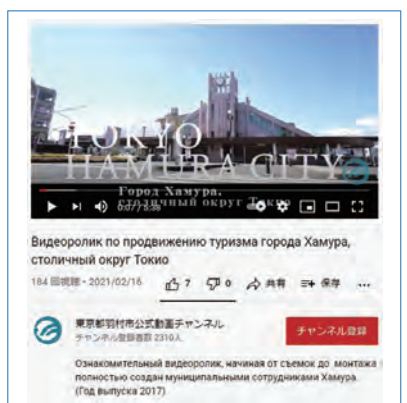


⑭ 動画制作



市民の皆さん向けに、羽村市はキルギス共和国の柔道チームを応援していることや、コムズ演奏や民族舞踊等、キルギス共和国のことを知ってもらう動画を制作。また、羽村市での応援やおもてなしの様子、羽村市の見どころ等、キルギス共和国の皆さんに羽村のことを知ってもらうロシア語字幕版動画も3本制作。

これらすべてを市公式動画チャンネル（YouTube）で配信。



⑮ ホストタウン PR グッズ

ホストタウン関連事業参加者向けにリーフレットとピンバッジを、小・中学生向けにステッカーを、第51回産業祭（はむら Go To スタンプラリー）参加者向けにエコバッグを作成。



⑯ 在日キルギス共和国大使館の協力

市主催事業への参加のほか、展示品の借用、発行物のロシア語への翻訳等、特命全権大使をはじめ大使館の皆さんの多大なるご協力のもと連携して関連事業を実施。



4. 各種団体等との連携・協力（主なもの）

- 特定非営利活動法人 羽村市体育協会
 - ・ 東京 2020 オリンピック・パラリンピック フラッグツアーの開催協力
 - ・ 市民体育祭へのオリンピック・パラリンピアン招致の協力
 - ・ 聖火リレーサポーターの推薦
 - ・ キルギス共和国男子柔道ナショナルチームへの応援メッセージ写真の提供
 - ・ JOC オリンピック支援自販機の設置協力
- 一般社団法人 はむら総合型スポーツクラブはむすぼ
 - ・ ジュニアチアダンスの皆さんによる節目イベント等におけるダンスの披露
 - ・ ラジオ体操動画への出演
 - ・ キルギス共和国男子柔道ナショナルチームへの応援メッセージ写真の提供
- 羽村市スポーツ推進委員協議会
 - ・ ボッチャの指導・普及
 - ・ ラジオ体操動画への出演
- 羽村市柔道会
 - ・ スポーツセンター第3ホールでのキルギス共和国男子柔道選手との交流
 - ・ キルギス共和国男子柔道選手とのオンライン交流
 - ・ キルギス共和国男子柔道ナショナルチームへの応援メッセージ写真の提供
- 公立福生病院・東京都柔道整復師会西多摩支部
 - ・ 事前キャンプ時におけるキルギス共和国男子柔道選手のけが等の対応
- 西多摩衛生組合
 - ・ 事前キャンプのための宿泊施設の提供
 - ・ 東京 2020 パラリンピックを応援しよう! 1000 日前ウィーク in 羽村での駐車場提供
- 社会福祉法人 羽村市社会福祉協議会
 - ・ 東京 2020 パラリンピックを応援しよう! 1000 日前ウィーク in 羽村の運営協力
 - ・ 東京 2020 大会関連ツールによる装飾
- 羽村市文化協会
 - ・ 東京 2020 参画プログラム（公認プログラム）認証制度の活用
 - ・ 文化祭におけるキルギス共和国関連講演会の開催協力
 - ・ JOC オリンピック支援自販機の設置協力
- 羽村市舞踊連盟
 - ・ 東京五輪音頭-2020-踊り方講習会における指導
 - ・ 節目イベント等における東京五輪音頭-2020-の踊りの披露
- 羽村市町内会・自治会
 - ・ ボッチャ（簡易版）体験等、生涯学習まちづくり出前講座の活用
 - ・ 盆踊りでの東京五輪音頭-2020-の踊りの披露
 - ・ 町内会行事における東京 2020 参画プログラム（応援プログラム）認証制度の活用
- 羽村市商工会
 - ・ 訪日観光客向け羽村市ガイドマップ（多言語）の作成・配布協力
 - ・ 市内商工業者へのオリンピック・パラリンピック関連ポスターの配布協力
 - ・ 市内商工業者へのホストタウン関連グッズ等の配布協力
- 羽村市農業団体協議会・羽村市農産物直売所運営委員会・羽村市農業後継者クラブ
 - ・ 事前キャンプ時におけるキルギス共和国男子柔道ナショナルチームへの野菜の提供
 - ・ キルギス共和国男子柔道ナショナルチームへの応援メッセージ写真の提供

■ 一般社団法人 羽村市観光協会

- ・ 訪日観光客向け羽村市ガイドマップ（多言語）の作成・配布協力
- ・ ラジオ体操動画への出演
- ・ キルギス共和国男子柔道ナショナルチームへの応援メッセージ写真の提供

■ 日野自動車株式会社

- ・ 日野自動車(株)はむら工場さくらまつりにおける気運醸成ブースの共同出展
- ・ 節目イベントにおける出展協力
- ・ キルギス共和国男子柔道ナショナルチームへの応援メッセージ写真の提供

■ コカ・コーラ社

- ・ 節目イベント・産業祭における出展協力
- ・ 事前キャンプ時におけるキルギス共和国男子柔道ナショナルチームへの飲料の提供
- ・ JOC オリンピック支援自販機の設置及び周辺装飾
- ・ 聖火リレーメモリアル自販機の設置及び周辺装飾
- ・ 聖火リレー記念ピンバッジの作成・提供
- ・ キルギス共和国男子柔道ナショナルチームへの応援メッセージ写真の提供

■ 杏林大学

- ・ 節目イベントにおけるボッチャ体験の指導
- ・ 産業祭における出展・オリンピック・パラリンピック 関連講座開催協力
- ・ 聖火リレーサポーターの募集協力

■ 羽村市スイミングセンター指定管理者【大和興産株式会社】

- ・ バッジやTシャツ等の東京 2020 ライセンス商品の販売

■ 羽村市動物公園指定管理者【株式会社横浜八景島】

- ・ 聖火リレーメモリアル自販機の設置協力
- ・ 羊毛フェルトグッズ等のキルギス共和国関連商品の販売
- ・ キルギス共和国男子柔道ナショナルチームへの応援メッセージ写真の提供

■ 東京都立羽村高等学校

- ・ 事前キャンプのためのトレーニング会場の提供
- ・ 聖火リレーサポーターの推薦
- ・ 東京 2020 オリンピック聖火リレー点火セレモニーにおける自治体映像に出演
- ・ キルギス共和国男子柔道ナショナルチームへの応援メッセージ写真の提供

■ 在高知キルギス共和国名誉領事館 中島利博名誉領事

- ・ 事前キャンプ時の激励及び差入れ

■ 在指宿キルギス共和国名誉領事館 水迫政治名誉領事

- ・ 事前キャンプ時の激励及びチームへの柔道衣購入資金贈呈
- ・ 遊牧民の移動式住居「ユルタ」の借用

■ NPO 法人 シニアボランティア経験を活かす会 松田信治理事

- ・ キルギス共和国関連展示における展示品の借用
- ・ キルギス共和国男子柔道ナショナルチームへの応援メッセージ写真の提供

■ アラバエフ・キルギス国立大学附属日本学院 四橋道徳代表理事

- ・ 事前キャンプに関する合意書締結式の運営協力

■ 警視庁福生警察署・東京消防庁福生消防署

- ・ 事前キャンプや聖火リレーにおける安全の確保

※ その他、小・中学校等、多くの団体・事業者・個人の皆さんと連携・協力

5. ボランティア意識の醸成

(1) ボランティア活動

① 2020 はむらサポーター “スペシャルサポートメンバー”



東京 2020 大会を盛り上げていくため、市の関連事業のサポート活動に参加する羽村市独自のボランティア。

聖火リレーの準備を含む 5 事業に延べ 436 人が参加。

② 聖火リレーサポーター

羽村市体育協会や羽村高等学校等の協力により、聖火リレー実施時の安全確保等のための聖火リレーサポーター379人を登録し、説明会の開催や帽子・Tシャツ等の支給品の調達等の準備を進めていましたが、公道走行の中止に伴い活動も中止。



③ 大会ボランティア (Field Cast) ・都市ボランティア (City Cast)

競技会場や選手村等で大会運営に関わる大会ボランティアや、空港や駅周辺等で観光案内や交通案内を行う都市ボランティアに、多くの市民も参加。都市ボランティアとして、市から公募市民 25 人を推薦。

(2) その他

外国人おもてなし語学ボランティア育成講座等



東京都との共催によるおもてなし講座と語学講座を開催する等、平成 28 年度～令和 3 年度に 5 回開催し、延べ 122 人の市民の皆さんが参加。

ゆとりぎ協働事業運営市民の会もおもてなし講座を開催。

6. 市立小・中学校における取組み

オリンピック・パラリンピック教育について

オリンピック・パラリンピック教育では、重点的に育成すべき5つの資質〈ボランティアマインド〉〈障害者理解〉〈スポーツ志向〉〈日本人としての自覚と誇り〉〈豊かな国際感覚〉が示されています。

ボランティアマインド	発達段階に応じてボランティアに関わる取組みを継続的・計画的に行い、社会に貢献しようとする意欲や他者を思いやる心を育むとともに、子どもたちの自尊心を高めます。
障害者理解	障害の有無に関わらず、共に力を合わせて生活できる真の「共生社会」を実現するため、障害者理解の学習体験や障害者との交流を通じ、多様性を尊重し、障害者を理解する心のバリアフリーを子どもたちに浸透させます。
スポーツ志向	スポーツへの興味・関心を高め、様々なスポーツを体験することにより、子どもたちにフェアプレーやチームワークの精神を身につけさせるとともに、心身ともに健全な人間へと成長させます。
日本人としての自覚と誇り	日本の伝統・文化や最新の技術等を学び、世界に発信する力を育てるとともに、日本人の規範意識や公共の精神等を学ぶことを通じ、子どもたちに日本人としての自覚と誇りを身につけさせます。
豊かな国際感覚	世界の多様な国々の歴史や文化を学ぶとともに、留学生や外国人、海外の学校等との交流を促進し、世界各国の人々とコミュニケーションを図ろうとする態度や、豊かな国際感覚を養います。

羽村東小学校

諦めがちだった子どもたちが自主的に練習

【スポーツ志向】

- ・逆上がり補助板を設置し、いつでも自ら逆上がりの練習ができる環境を設けた。
- ・ラジオ体操指導を10月の中休み及び昼休みに実施し、その成果を運動会で披露した。
- ・コロナ禍にあり密を防ぐために、中休みの遊び場所を体育館、校庭、屋上等、施設の有効活用を図った。



その他の主な取組み

【ボランティアマインド】

◇ボランティアサークルを招聘し、生ゴミから作った堆肥を使用して校庭の畑で野菜を作った。

(平成30年度)

【障害者理解】

◇5年生がボッチャを体験し、身体が不自由な方と楽しめるスポーツを知った。(平成30年度)

◇図工の時間に特別支援学校の5年生と交流して、一緒に作品を作り作品展で展示した。(令和元年度)

【スポーツ志向】

◇日野自動車ラグビー部によるタグラグビー教室を通じて、スポーツの楽しさを感じた。(平成30年度)

【日本人としての自覚と誇り】

◇外国語活動の時間(3～6年)にALTに英語で日本の文化や地域を紹介した。(平成30年度)

内容：十二支、羽村市のよさ、日本のおすすめのスポット

◇外国語活動の時間(4年)にALTに英語で日本の伝統遊びを紹介した。(令和元年度)

内容：折り紙、おはじき、けん玉、福笑い、あやとり等

羽村西小学校

【スポーツ志向】

- ・プロアスリート（なわとびパフォーマー）との交流会を年間通して設定し、スポーツに親しみ、自ら進んでスポーツを行おうとする意識を高めた。
- ・体育の授業でハピスポ（ハッピースポーツ）タイムを設定し、楽しく運動に親しみながら、体力向上に努めた。



互いに声を掛け
合ったり励まし
合ったり……



その他の主な取組み

【ボランティアマインド】

◇ガイドヘルプ体験を行った。（令和元年度）

【障害者理解】

◇パラリンピアン（ブラインドサッカー）の加藤健人さんを招き、講演や模範演技を行っていた
だき、さらに6年生は指導を受けながら、実際にブラインドサッカーを体験した。（平成30年度）

【スポーツ志向】

◇オリンピック（新体操）の秋山エリカさんを招き、実際に演技を見た。その後、1～3年生は、
コーディネーショントレーニングの指導を受けた。（平成30年度）

富士見小学校

【日本人としての自覚と誇り】文化プログラム・学校連携事業実施校（令和元・2年度）

- ・日本の伝統文化への理解、規範意識、公共の精神等の修養、日本の伝統・文化を世界に発信する力等の資質を育んだ。

《伝統音楽（5年 音楽科）》

- ・三味線の歴史を知り、簡単な演奏を体験した。



その他の主な取組み

【ボランティアマインド】

◇視覚障害者の方からの講演後、アイマスク体験を行った。（令和元年度）

【障害者理解】

◇様々な障害やパラスポーツについて調べた。（令和元年度）

【スポーツ志向】

◇縄跳びの専門家の指導を受けて、ダブルダッチ等を体験した。（令和元年度）

◇コーディネーショントレーニングによる楽しみながら体力の向上を図る活動を行った。（令和2年度）

【日本人としての自覚と誇り】

◇お囃子を通じて伝統文化の継承の大切さを学んだ。（平成30年度～令和2年度）

◇茶道や華道等日本の文化に触れる機会を設けた。（平成30年度・令和元年度）

【豊かな国際感覚】

◇馬頭琴を通じてモンゴルの文化について触れる機会を設けた。（令和元年度）

栄小学校

【スポーツ志向】オリンピック・パラリンピック教育アワード校（令和元・2・3年度）

- ・スポーツへの親しみ、フェアプレー・チームワークの精神、健康づくりへの意欲等の資質を育んだ。

○アスリートによる講話（6年 総合的な学習の時間）

○ランランタイム（全校児童 中休み）

- *コロナ禍においても、個々に学習ができる陸上運動の重点化としてハードル走、持久走、走り高跳び、走り幅跳びの学習を行った。



その他の主な取組み

【ボランティアマインド】

◇地域の街路に花を植え、水やり等に取り組んだ。（平成30年度～令和2年度）

◇高齢者施設を訪問し、音楽等を通して交流した。（令和元年度）

【スポーツ志向】

◇オリンピック（バレーボール）のヨーコ・ゼッターランドさんを招き、努力の大切さを学んだ。
（平成30年度）

◇日野レッドドルフィンズ（ラグビー）を招き、競技の楽しさ等を学んだ。（令和元年度）

◇オリンピック（新体操）の秋山エリカさんを招き、オリンピックの素晴らしさを学んだ。
（令和元年度）

◇オリンピック（カヌー）の笹本弘子さんを招き、競技の楽しさ等を学んだ。（令和2年度）

【豊かな国際感覚】

◇馬頭琴を通じてモンゴルの文化について触れる機会を設けた。（令和2年度）

松林小学校

【障害者理解】パラリンピック競技応援校（令和元・2年度）

- ・パラリンピック競技の体験を通して障害者スポーツに興味をもつとともに、パラリンピック競技等を通して、東京都立羽村特別支援学校との交流がさらに深まり、共生社会を実現する児童の育成が図られた。

まっすぐ！まっすぐ！
ボールまで、あと3歩だよ！



その他の主な取組み

【ボランティアマインド】

◇東京都立羽村高等学校の生徒とともに、地域の街路への花植えや清掃を行った。（令和元年度）

【障害者理解】

◇ブラインドサッカー選手の山川聖立さんを招き、実際に競技を体験した。（令和2年度）

◇ブラインドサッカー選手の菊島宙さん（松林小学校卒業生）との交流を通じ、パラリンピック競技が児童にとって身近なものになった。（令和元・2年度）

【スポーツ志向】

◇オリンピック（水泳）の山口美咲さんを招き、水泳指導を受けた。（平成30年度・令和元年度）

【日本人としての自覚と誇り】

◇華道の家元を招き、華道について学び実際に体験した。（令和元年度）

◇箏奏者の演奏を聴くとともに、実際に箏を演奏した。（令和2年度）

小作台小学校

【国際理解】

- ・羽村市がホストタウンとなっている「キルギス共和国」について知識や理解を深める取組みとして、令和2年度にJICA シニアボランティアの松田信治さん（キルギス共和国で活動）を招いて講演を行った。その後も継続して「キルギス共和国」について児童の興味・関心を高める活動に取り組み、「キルギス掲示板」を校内に設置する等、豊かな国際感覚を養った。



その他の主な取組み

【ボランティアマインド】

- ◇全校児童が地域清掃を行った。（平成30年度・令和元年度）

【障害者理解】

- ◇手話の学習や点字体験を行った。（令和元年度）
- ◇誰もが暮らしやすい街づくりについて調査を行い、自分たちにできることを考えた。（令和2年度）

【スポーツ志向】

- ◇オリンピック（バレーボール）の大山加奈さんを招き、日々の生活の大切さを学んだ。（平成30年度）
- ◇オリンピック（バレーボール）の朝日健太郎さんを招き、食事や運動の大切さを学んだ。（令和元年度）
- ◇オリンピック（カヌー）の笹本弘子さんを招き、夢をもつことの大切さを学んだ。（令和2年度）

武蔵野小学校

【国際理解】

- ・高学年は海外の小学生と電子メールやビデオレター、テレビ電話等での交流を行い、異文化理解の促進を図った。
- ・低学年では折り紙を折って、ラオス、マリ、ガイアナ、マルタに送ることで、日本文化を伝えることができた。



Hello! Nice to meet you!

その他の主な取組み

【ボランティアマインド】

- ◇NPO 法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパンの方を招き、「世界の貧困問題」について考えた。（平成30年度）
- ◇日本大学スポーツ科学部の方を招き、伴走体験をした。（令和2年度）

【スポーツ志向】

- ◇アルバルク東京（バスケットボール）を招き、スポーツの楽しさと協力することの意味を学んだ。（平成30年度）
- ◇日野レッドドルフィンズ（ラグビー）を招き、競技の楽しさ等を学んだ。（令和元年度）

【日本人としての自覚と誇り】

- ◇味噌づくりや郷土料理等を実際に作った。（平成30年度）

【豊かな国際感覚】

- ◇フィンランドの学校と電子メールやテレビ電話を介して交流をした。（平成30年度～令和2年度）
- ◇途上国の水とトイレの問題について学び、「自分ごと」として考えた。（令和元年度）

羽村第一中学校

【スポーツ志向】

- ・ ロンドン大会に出場した競泳選手、加藤ゆかさんを招待して講演会を行い、夢に向かいチャレンジすることの大切さや、家族の支えの大切さ、チームワークの精神等を学んだ。
- ・ 平成 28 年度から 3 年間、東京都教育委員会の「スーパーアクティブスクール」指定校として、持久力を中心に体力向上に取り組んだ。



その他の主な取組み

【ボランティアマインド】

◇高齢者施設にグリーティングカードを作成し送った。(令和 2 年度)

【スポーツ志向】

◇スーパーアクティブスクール指定校として長距離走を中心に実践を積んだ。(平成 30 年度)

【障害者理解】

◇車いすラグビー選手の峰島靖さんを招き、障害者スポーツを体験した。(平成 30 年度)

羽村第二中学校

【ボランティアマインド】

～スクールアクション「もったいない」大作戦～

- ・ 標準服、学校で使用する衣服の再利用を保護者とも連携して取り組んだ。また、SDGs の視点も取り入れ、コンタクトレンズの空ケースの回収やペットボトルキャップの回収にも取り組んだ。



その他の主な取組み

【ボランティアマインド】

◇地域清掃を部活動単位で取り組んだ。(平成 30 年度)

◇高齢者施設において交流会や演奏会を行った。(令和元年度)

【障害者理解】

◇東京都立羽村特別支援学校の生徒との交流会を行った。(平成 30 年度～令和 2 年度)

[令和 2 年度はリモート]

◇アイマスク体験を行った。(平成 30 年度・令和元年度)

【スポーツ志向】

◇ブラインドサッカーチームの埼玉 T.Wings を招き、ブラインドサッカーを体験し、フェアプレーや協力の大切さを学んだ。(平成 30 年度・令和元年度)

羽村第三中学校

【障害者理解】

- ・障害者スポーツ・パラリンピック競技の体験等、競技者との直接的な交流を行った。
- ・令和3年度はボッチャの体験等を実施し、障害者及び障害者スポーツに対する生徒の理解を深めることができた。



その他の主な取組み

【ボランティアマインド】

- ◇全校生徒が地域清掃に取り組んだ。(平成30年度)
- ◇高齢者施設に手作りのマスクを作成し送った。(令和2年度)

【障害者理解】

- ◇車いす体験、アイマスク体験、高齢者疑似体験を行った。(平成30年度)
- ◇高齢者疑似体験とその介助について学んだ。(令和元年度)
- ◇ボッチャ競技を体験した。(令和2年度)

【スポーツ志向】

- ◇パラリンピアン(車いすバスケットボール)の神保康広さんを招き、競技の楽しさを学んだ。(平成30年度)
- ◇オリンピック(バドミントン)の米倉加奈子さんを招き、競技の楽しさを学んだ。(令和元年度)

＜豊かな国際感覚＞ 市立小・中学校全校での取組み

◆世界ともだちプロジェクト

世界ともだちプロジェクトでは、各校が世界の様々な国・地域について学び、理解するために、大会参加予定国のうち5つの国・地域を選び、調べ学習を行った。各国・地域の文化や歴史、言語、特徴的な国技・スポーツ等について調べることを通して世界の多様性について理解を深め、豊かな国際感覚を養った。

また、市独自の取組みとして、令和元年度から5つの国・地域の他に、全校でキルギス共和国を追加し、調べ学習を通じて理解を深めた。



	世界ともだちプロジェクト学習交流対象国・地域
羽村東小	英国、ルーマニア、ペルー共和国、ナイジェリア連邦共和国、オマーン国
羽村西小	大韓民国、ハンガリー、コロンビア共和国、ガーナ共和国、ツバル
富士見小	アメリカ合衆国、キプロス共和国、エジプト・アラブ共和国、ホンコン・チャイナ、ニュージーランド
栄小	アメリカ合衆国、デンマーク王国、エリトリア国、インドネシア共和国、バプアニューギニア独立国
松林小	英国、ルーマニア、ペルー共和国、ナイジェリア連邦共和国、オマーン国
小作台小	ギリシャ共和国、スロバキア共和国、セントルシア、セネガル共和国、フィリピン共和国
武蔵野小	フィンランド共和国、マルタ共和国、ガイアナ共和国、マリ共和国、ラオス人民民主共和国
羽村一中	オランダ王国、ウクライナ、ウルグアイ東方共和国、南アフリカ共和国、スリランカ民主社会主義共和国
羽村二中	ドイツ連邦共和国、ノルウェー王国、ジャマイカ、モロッコ王国、モルディヴ共和国
羽村三中	オランダ王国、トルコ共和国、トリニダード・トバゴ共和国、ソマリア連邦共和国、シンガポール共和国

7. 東京 2020 大会開催時等の取組み

(1) 東京 2020 オリンピック聖火リレー

① 聖火ランナー

羽村市ゆかりの聖火ランナー4人を含む16人の聖火ランナーが市内を走行予定でしたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により公道走行は中止。



② 点火セレモニー

公道走行中止に伴い、令和3年7月12日(月)、立川市において、東京都4日目の点火セレモニーを実施。

羽村市内を走行予定であった羽村市ゆかりのランナー4人も参加し、トーチキスを実施。



市内で聖火リレーリハーサル

令和2年2月15日(土)に、羽村市内の聖火リレールートの一部を利用し、聖火リレー隊列やダミーランナーが公道を試走する、東京2020組織委員会と東京都聖火リレー実行委員会による聖火リレーリハーサルが実施されました。多くのメディア・観客・視察者等が来場し、羽村市を国内外にPRすることができました。

上記のとおり、市内の走行を予定していた東京2020オリンピック聖火リレーが残念ながら中止となったこともあり、このリハーサルの実施は、市民の皆さんの心に残る出来事になったのではないのでしょうか。



(2) 東京 2020 パラリンピック聖火リレー

① 聖火ランナー



羽村市ゆかりの聖火ランナー1人が日野市内を走行予定でしたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により公道走行は中止。

② 採火

令和3年8月20日（金）、市役所正面玄関前において、市民の皆さんから募集した応援メッセージを背景に舞割り方式により、パラリンピックを応援する市民の思いが込められた「東京2020パラリンピック聖火（羽村市の火）」を採火。



③ 点火セレモニー



公道走行中止に伴い、令和3年8月22日（日）、国分寺市において、東京都3日目の点火セレモニーを実施。

羽村市ゆかりの聖火ランナー1人も参加し、トーチキス等を実施。

(3) その他

中止となった事業

キルギス共和国男子柔道ナショナルチームによる事前キャンプの受入れ、スポーツセンターにおける東京2020オリンピック聖火リレーの出発式や東京2020パラリンピック聖火リレーの採火の式典を、また、キルギス共和国男子柔道選手を市民の皆さんが応援するバスツアーを計画していましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止。

8. レガシー創出

(1) ハード面でのレガシー

① スポーツ環境の充実

東京 2020 大会の成功に向けた区市町村支援事業補助金（以下「東京都の補助金」という。）を活用し、スポーツセンターのエレベーターの福祉・安全機能の充実を図るとともに、東京 2020 大会の事前キャンプの練習会場として使用予定だった第 3 ホールの畳替え等を行い、スポーツ環境の充実を図りました。

② 記念銘板設置

東京都の補助金を活用し、平成 30 年 11 月と令和元年 8 月に、スポーツセンターを練習会場として実施したキルギス共和国男子柔道ナショナルチームによる事前キャンプについて、記念の銘板をスポーツセンター前庭に設置する予定です。

③ JOC オリンピック支援自販機設置・聖火リレーメモリアル自販機設置

市内企業であり東京 2020 大会スポンサー企業でもあるコカ・コーラ社と連携し、スポーツセンター・生涯学習センターゆとりぎ・図書館に、売上金の一部を日本オリンピック委員会（JOC）へ寄付を行う、環境性能の高い、清涼飲料水の自動販売機を設置し、大会気運の高揚を図りました。

また、スポーツセンターと動物公園には、東京 2020 オリンピック聖火リレーの記念となる、環境性能の高い、清涼飲料水の自動販売機も設置しました。

(2) スポーツ習慣の定着

多くの感動を与えてくれた東京 2020 大会の開催はもとより、延べ 20,000 人を超える市民の皆さんが参加した、市民体育祭や東京 2020 大会に向けた節目イベント等において、東京都の補助金を活用して招致したオリンピックやパラリンピアンから市民の皆さんに、スポーツの素晴らしさや価値を伝えていただきました。

また、東京都市長会の多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成金（以下「市長会の助成金」という。）を活用し、小・中学生を対象に走り方教室や体幹教室を開催し、これまで延べ 3,000 人を超える児童・生徒に参加していただきました。大人を対象とした歩き方教室には、これまで延べ 300 人を超える市民の皆さんが参加し、正しい姿勢による歩き方等を学びました。

さらに、市民体育祭では、障害の有無に関わらず、誰でも参加できる種目を設定し、周知したり、駅伝大会では相談体制を整えるなど、障害のある人も参加しやすいような環境整備に努めました。

このように、東京 2020 大会を機に、多くの市民の皆さんのスポーツ習慣定着促進のきっかけづくりを行うことができました。



(3) パラスポーツの普及

市長会の助成金を活用し、障害者スポーツのススメと題して、パラリンピック競技であるボッチャの講習会を実施するとともに、「ボッチャはむら大会」を開催することもできました。障害の有無にかかわらず、これまで延べ 400 人を超える市民の皆さんに参加していただき、パラスポーツの普及促進と障害者理解にも資する事業を実施することができました。

なお、令和 2 年 2 月には、多摩地域 29 自治体の 57 チームが参加し、「東京都市町村ボッチャ大会」が初めて開催され、ボッチャはむら大会の優勝チームが初代チャンピオンに輝きました。令和 4 年 1 月には、2 回目が開催されます。



(4) 持続可能な資源利用の推進

東京 2020 大会では、使用済み携帯電話等から集めた金属によるメダルの製作（「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」）や、回収した使い捨てプラスチックによる表彰台の製作（使い捨てプラスチックを再生利用する「みんなの表彰台プロジェクト」）、また、大会で使用した物品を大会終了後に有効活用するなど、資源をムダにしない取組みを進めました。

市でも 755 個の携帯電話やスマートフォンを回収（P18 参照）したり、液晶プロジェクターやバイクラックなど、多くの大会時の使用物品の譲渡を受けました。

さらに、今大会では、聖火の燃料として初めて水素が活用されましたが、今後の水素社会を見据え、市の公用車として利用するため、大会運営で使用された燃料電池自動車（FCV）1 台を購入する予定で、市内事業者であり市主催の節目イベント開催等にも協力いただいた、日野自動車㈱の羽村工場の敷地内に水素ステーションの建設予定もあり、水素エネルギーの普及に資する取組みも進めています。



(5) キルギス共和国との交流

海外の都市との交流経験の少ない羽村市にとって、東京 2020 大会の事前キャンプ誘致は手探りで始めた取り組みでした。東京 2020 大会では叶いませんでしたでしたが、日本で開催された柔道の国際大会に出場するため、これまでキルギス共和国男子柔道ナショナルチームの事前キャンプを 2 回受入れることができたのは、市民の皆さんのご理解と多くの関係者の皆さんのご協力によるもので、改めて感謝申し上げます。

縁あって、事前キャンプの受入れという取り組みをきっかけに、ホストタウン登録という国の後押しもあり、日本から西へ約 5,500km 離れたユーラシア大陸のほぼ中央に位置する山々に囲まれた美しい国であるキルギス共和国との交流を始めることができたことは、市民の皆さんの国際理解の促進や多文化共生の理解に資する取り組みになりました。

令和元年 7 月のキルギス現地での事前キャンプ実施の合意書締結式には、羽村市ーキルギス共和国友好親善ボランティア大使や羽村市民の有志の皆さんにも駆けつけていただきました。

行き来するにはまだまだ時間がかかる遠い国ですが、羽村市柔道会の子どもたちがキルギス共和国の柔道選手と実施したオンラインでの交流を継続する等、今後も、これまで紡いだ糸を切らすことなく、市民の皆さんの交流を後押ししていく等、交流の充実に取り組んでいく予定です。



(6) 豊かな国際感覚の醸成

東京 2020 大会を羽村市の子どもたちが今まで培った力を発揮し、さらに自分たちの良さを伸ばす貴重な機会としてとらえ、「東京都オリンピック・パラリンピック教育」実施方針に基づき、オリンピック・パラリンピック教育を全校で展開してきました。

このオリンピック・パラリンピック教育の施策の一つである「世界ともだちプロジェクト」は、東京 2020 大会参加予定国・地域からキルギス共和国を含む 6 つの国や地域の言語や文化、歴史等の調べ学習を通じて、多様性を知り、様々な価値観を尊重することの重要性を学びました。

子どもたちは東京 2020 大会で多くの知識を得ただけではなく、交流やボランティア等多くの体験の機会もありました。この貴重な経験は、「スポーツ」という枠を越えて、人と人との触れ合いにつながったことでしょう。

子どもたちが、この大会を契機に、「もっと知りたい」「もっと関わってみたい」という気持ちをさらに高め、国際感覚豊かに、共生社会の実現や国際社会の平和と発展に貢献できる社会人となることを期待しています。

(7) ボランティア意識の高揚

平成 30 年 10 月 15 日号の広報はむらに、東京 2020 大会の運営に関わる「大会ボランティア」及び観光案内や交通案内を行う「都市ボランティア」の募集記事を掲載し、平成 30 年 12 月には、「都市ボランティア」として公募市民 25 人を東京都に推薦しました。

また、令和元年 7 月 15 日号の広報はむらでは、羽村市の独自ボランティアである「2020 はむらサポーター “スペシャルサポートメンバー”」を募集し、「羽村市・キルギス共和国友好親善コンサート」「東京 2020 大会を応援しよう! 1 年前イベント」「ボッチャはむら大会」の 3 事業で、延べ 37 人の市民の皆さんに一翼を担っていただきました。

さらに、令和 2 年 3 月 1 日号の広報はむらで募集した「羽村市聖火リレーサポーター」には、団体等の推薦も含め 379 人の応募があり、ボランティアとしての識別グッズ等の支給品の調達や説明会の開催等の準備を進めていましたが、公道での走行が中止になったため、残念ながら活動はできませんでした。

東京都との共催で始めた「外国人おもてなし語学ボランティア育成講座」は、市独自開催を含め 5 回実施し、延べ 122 人の市民の皆さんが受講しました。また、ゆとろぎ協働事業運営市民の会でも独自のおもてなし講座を開催していただきました。これらの講座の内容を活かせる実際の活動の機会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響によりあまり多くはありませんでしたが、外国人観光客の受入れ環境を整える一助になりました。

活動の内容に違いがあるにせよ、このように多くの市民の皆さんが各種ボランティア活動等に関わることができ、ボランティア意識を高めることができました。

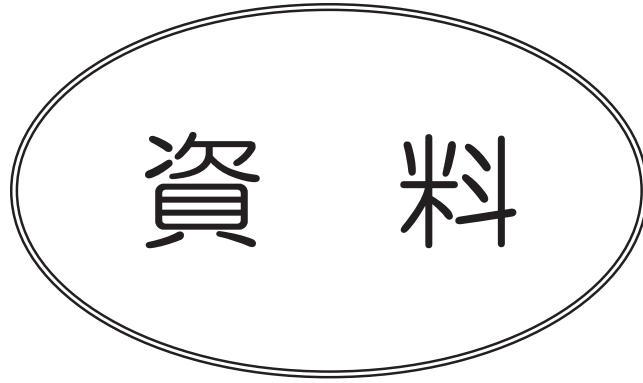
これらの助け合いの精神が地域に広がり、今まで以上にボランティア活動が盛んになるよう期待しています。

(8) 共生社会の実現に向けて

東京 2020 大会の開催は、多くの人に勇気と感動を与え、スポーツの持つポテンシャルを改めて感じさせてくれるとともに、世界にはいろいろな個性があり、その個性のぶつかり合いを目の当たりにすることにより、多様性を認め合うとともにお互いに助け合って生きていく必要性を考えるきっかけを与えてくれました。

また、6 言語による訪日観光客向け羽村市ガイドマップの作成について報告しましたが、東京 2020 大会の開催がきっかけとなり、市の事務事業においても、やさしい日本語の活用や多言語通訳システムの導入についての検討も始まりました。

私たちはこれらのいろいろな経験や取組みを活かして、共生社会の実現に向けて、誰もが自分らしく生きることができるよう、みんなでくらしやすいまちを創り上げていきたいと思います。



■ 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の概要等

● 第 32 回オリンピック競技大会

- 会 期 令和 3 年 7 月 23 日（金）～8 月 8 日（日）【17 日間】
- 競 技 数 33 競技（うち追加競技：野球・ソフトボール、空手、スケートボード、スポーツクライミング、サーフィン）
- 会 場 数 42 会場（都内 24 会場、都外 18 会場）
- 参 加 国 等 205 の国・地域及び難民選手団
- 参 加 人 数 選手 11,259 人（うち日本選手団 583 人）
※ 女性選手の割合約 49%
- 日本のメダル数 金 27 個、銀 14 個、銅 17 個
- 観 客 無観客：東京・埼玉・千葉・神奈川・北海道・福島
有観客：宮城・静岡・茨城〔学校連携観戦のみ〕（観客は 43,300 人）

● 東京 2020 パラリンピック競技大会

- 会 期 令和 3 年 8 月 24 日（火）～9 月 5 日（日）【13 日間】
- 競 技 数 22 競技（うち新競技：バドミントン、テコンドー）
- 会 場 数 21 会場（都内 15 会場、都外 6 会場）
- 参 加 国 等 162 の国・地域及び難民選手団
- 参 加 人 数 選手 4,405 人（うち日本選手団 254 人）
※ 女性選手の割合約 42%
- 日本のメダル数 金 13 個、銀 15 個、銅 23 個
- 観 客 無観客
〔学校連携観戦〕東京・埼玉・千葉で実施（東京は 10,543 人参加）

● 主な新型コロナウイルス感染症対策

- マスク着用、物理的距離の確保、三密の回避などの基本的な対策の徹底。
- 海外からの入国者数の絞込み、入国前の出国地での 2 回検査・入国後の定期的な検査の実施、厳格な用務先制限・行動管理・健康管理、陽性者が確認された場合の迅速な隔離等、海外からの感染の持込みの抑制。
- 交通需要マネジメントの推進、ライブサイト等の中止及びデジタル配信への転換、多くの会場での無観客開催及びステイホーム観戦の呼びかけ等、東京 2020 大会開催に伴う人流の抑制。

● キルギス共和国代表選手

- オリンピックには 16 人（7 競技）、パラリンピックには 2 人（2 競技）のキルギス共和国代表選手が出場。
- オリンピックの柔道では、男子 81kg 級にゾロエフ選手が出場。
※ 同選手は過去 2 回（柔道グランドスラム大阪 2018、2019 世界柔道選手権）の事前キャンプで羽村市に訪れています。

■ 羽村市における東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に関する取組基本方針

平成 28 年 5 月 12 日に、羽村市の取組みの基本的な方針を定めました。

羽村市における東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に関する取組基本方針

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京 2020 大会」という。）の開催により、世界の国と地域から、多くのアスリートや観客が東京や日本各地を訪れることになるとともに、各種メディアにより東京 2020 大会の様子等が広く紹介され、世界的な注目を集めることになります。

オリンピック競技大会・パラリンピック競技大会は、スポーツを通じた平和の祭典であり、開催都市「TOKYO」の一員として、東京 2020 大会の成功に向け、関係都市等と連携・協力するとともに、次世代に誇れるレガシー（有形・無形の遺産）を創出するため、以下の取組基本方針を定め、これを推進していきます。

1. 連携・協力による大会気運の醸成

- 東京都や東京 2020 組織委員会等との連携による PR 活動を通じて、東京 2020 大会の気運醸成を図るとともに、広域連携も視野に入れた海外選手団の事前キャンプの誘致に努めます。
- 東京 2020 大会の関連イベントの開催等、市民・団体等と協働した取組みを検討し、市民の参加意識の高揚を図ります。

2. 市民スポーツの振興及びスポーツを通じた健康づくりの推進

- 東京 2020 大会を契機として、市民のスポーツへの関心を高め、健康づくりの意識の高揚を図り、体力・運動能力の向上に繋げていきます。
- パラリンピック競技種目の紹介等の普及啓発活動により、障害者の理解促進や障害者スポーツの振興を図り、障害者の社会参加の拡大に繋げていきます。

3. まちの魅力の発信及び産業の活性化

- まちの魅力を国内外に発信するとともに、広域連携も視野に入れた応援団等の外国人観光客の滞在・観光の誘致に努めます。
- 商工会や農業団体等と連携し、東京 2020 大会を契機とした産業の活性化を図ります。

4. 文化芸術の振興及びグローバル人材の育成

- 東京 2020 大会を契機として、市民の文化芸術活動の参加機会の充実を図り、多様な文化芸術活動の発展に繋げていきます。
- ボランティアマインドの醸成、心のバリアフリーの浸透、豊かな国際感覚の醸成等、オリンピック・パラリンピック教育を展開し、心身の健全育成とともにグローバルな人材の育成に繋げていきます。

5. 来訪者にもやさしいまちづくりの推進

- 公共施設等の表示・標識等の多言語対応やボランティアの育成等、関係団体と連携し、外国人観光客の受入環境の整備に努めます。
- 多様性を尊重し、公共施設等のバリアフリー化の推進に努めます。

■ 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会庁内検討委員会設置要綱

平成 28 年 5 月 6 日に、羽村市における東京 2020 大会に関する取組事項を総合的に検討する会議体を設置しました。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会庁内検討委員会設置要綱

(設置)

第1条 羽村市における東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関する取組事項（以下「大会取組事項」という。）を総合的に検討するため、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会庁内検討委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 委員会は、羽村市長（以下「市長」という。）の指示に基づき次に掲げる事項について調査及び検討を行い、その結果を報告するものとする。

- (1) 大会取組事項に関する基本方針及び事業計画の策定に関すること。
- (2) 事業計画の進捗管理に関すること。
- (3) その他大会取組事項に必要となる事項に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) 委員長 副市長の職にある者
- (2) 副委員長 教育長の職にある者
- (3) 委員 羽村市庁議等の設置及び運営に関する規則（昭和60年規則第18号）第3条第1号に規定する部長の職にある者

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第4条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、議長となる。

2 会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 会議の議事は出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(意見の聴取等)

第5条 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の職員の会議への出席を求め、意見を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、東京オリンピック・パラリンピックに関する事務を所管する課において処理する。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成28年5月6日から施行し、第2条に定める事項について市長に報告した日をもってその効力を失う。

■ 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会庁内検討委員会の開催

羽村市における東京 2020 大会に関する取組事項を総合的に検討しました。

回数	開催日	議題
第 1 回	平成 28 年 5 月 11 日	東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会庁内検討委員会設置要綱について 外 2 件
第 2 回	平成 28 年 12 月 12 日	羽村市における東京 2020 大会取組事項に関する平成 28 年度事業実績（4 月～11 月）及び事業計画（12 月～3 月）について 外 1 件
第 3 回	平成 29 年 10 月 16 日	羽村市における東京 2020 大会取組事項に関する平成 28 年度事業実績（12 月～3 月）について 外 2 件
第 4 回	平成 30 年 3 月 9 日	羽村市における東京 2020 大会取組事項に関する平成 29 年度事業実績（10 月～3 月）について 外 1 件
第 5 回	平成 30 年 8 月 13 日	東京 2020 オリンピック聖火リレーについて
第 6 回	平成 30 年 10 月 15 日	羽村市における東京 2020 大会取組事項に関する平成 30 年度事業実績（4 月～9 月）及び事業計画（10 月～3 月）について 外 2 件
第 7 回	平成 31 年 3 月 18 日	羽村市における東京 2020 大会取組事項に関する平成 30 年度事業実績（10 月～3 月）について 外 1 件
第 8 回	令和元年 5 月 20 日	東京 2020 大会の開催期間及びその前後の期間における予定事業について 外 2 件
第 9 回	令和元年 8 月 26 日	東京 2020 オリンピック聖火ランナーについて
第 10 回	令和元年 9 月 27 日	東京 2020 オリンピック聖火ランナーについて
第 11 回	令和元年 11 月 5 日	羽村市における東京 2020 大会取組事項に関する令和元年度事業実績（4 月～9 月）及び事業計画（10 月～3 月）について 外 1 件
第 12 回	令和 2 年 1 月 27 日	東京 2020 オリンピック聖火リレーについて 外 2 件
第 13 回	令和 2 年 4 月 20 日 （書面開催）	羽村市における東京 2020 大会取組事項に関する令和元年度事業実績（10 月～3 月）について 外 1 件
第 14 回	令和 2 年 8 月 26 日 （書面開催）	東京オリンピック・パラリンピック準備室所管 令和 2 年度主な予定事業（案）～東京 2020 大会 1 年延期に伴う修正版～について
第 15 回	令和 3 年 5 月 28 日 （書面開催）	羽村市における東京 2020 大会取組事項に関する令和 2 年度主な事業実績について 外 1 件
第 16 回	令和 4 年 3 月 （予定）	最終報告（予定）

■ オリンピック・パラリンピック関連事業費等(招致決定以降)

年度	事業費決算額 (人件費を除く)	担当課 ・ 担当職員数		関係団体への 職員派遣
平成 26 年度	1964 年東京オリ・ パラ 50 周年記念事 業に要する経費	企画政策課	—	東京都オリ ンピック・パラ リンピック準 備局へ係長職 1 人を派遣
	1,462,205 円	—		
平成 27 年度	—	企画政策課	—	東京都オリ ンピック・パラ リンピック準 備局へ係長職 1 人を派遣
	—	—		
平成 28 年度	オリンピック・パ ラリンピックに要 する経費	東京オリンピック・ パラリンピック準備 室	・ 部長職（課長職兼務）1 人 ・ 係長職 1 人	東京 2020 組織 委員会へ主任 職 1 人を派遣
	10,040,959 円	2 人		
平成 29 年度	オリンピック・パ ラリンピックに要 する経費	東京オリンピック・ パラリンピック準備 室	・ 部長職（課長職兼務）1 人 ・ 係長職 1 人 ・ 主事職 1 人	東京 2020 組織 委員会へ主任 職 1 人を派遣
	10,063,646 円	3 人		
平成 30 年度	オリンピック・パ ラリンピックに要 する経費	東京オリンピック・ パラリンピック準備 室	・ 部長職（課長職兼務）1 人 ・ 係長職 2 人 ・ 主事職 1 人	東京 2020 組織 委員会へ主任 職 1 人を派遣
	10,075,394 円	4 人		
令和 元年度	オリンピック・パ ラリンピックに要 する経費	東京オリンピック・ パラリンピック準備 室	・ 部長職（課長職兼務）1 人 ・ 係長職 2 人 ・ 主事職 1 人	東京 2020 組織 委員会へ主任 職 1 人を派遣
	12,743,158 円	4 人		
令和 2 年度	オリンピック・パ ラリンピックに要 する経費	東京オリンピック・ パラリンピック準備 室	・ 部長職（課長職兼務）1 人 ・ 係長職 2 人 ・ 主事職 1 人	東京 2020 組織 委員会へ主任 職 1 人を派遣
	5,771,888 円	4 人		
令和 3 年度	オリンピック・パ ラリンピックに要 する経費	東京オリンピック・ パラリンピック準備 室	・ 課長職 1 人（8 月からは係長 職兼務） ・ 係長職 1 人（7 月末まで） ・ 主事職 1 人 ・ 会計年度任用職員（オリンピッ ク・パラリンピックコーディネーター）1 人	東京 2020 組織 委員会へ主任 職 1 人を派遣 （10 月末ま で）
	6,350,000 円 【見込額】	4 人 （8 月からは 3 人）		

■ オリ・パラ通信

広報はむら・羽村市公式サイトへの連載により、オリンピック・パラリンピック関連情報を提供しました。

No.	タイトル	広報はむら 掲載号
1	取組基本方針（五つの柱）について	平成 29 年 4 月 15 日号
2	羽村市の魅力を世界へ！	平成 29 年 5 月 15 日号
3	もうひとつのオリンピック	平成 29 年 6 月 15 日号
4	パラリンピック競技紹介①（アーチェリー）	平成 29 年 7 月 15 日号
5	パラリンピック競技紹介②（パラ陸上競技）	平成 29 年 8 月 15 日号
6	パラリンピック競技紹介③（バドミントン）	平成 29 年 9 月 15 日号
7	パラリンピック競技紹介④（ボッチャ）	平成 29 年 10 月 15 日号
8	パラリンピック競技紹介⑤（カヌー）	平成 29 年 11 月 15 日号
9	パラリンピック競技紹介⑥（自転車競技）	平成 29 年 12 月 15 日号
10	パラリンピック競技紹介⑦（馬術）	平成 30 年 1 月 15 日号
11	パラリンピック競技紹介⑧（5 人制サッカー）	平成 30 年 2 月 15 日号
12	パラリンピック競技紹介⑨（ゴールボール）	平成 30 年 3 月 15 日号
13	パラリンピック競技紹介⑩（柔道）	平成 30 年 4 月 15 日号
14	パラリンピック競技紹介⑪（パラ パワーリフティング）	平成 30 年 5 月 15 日号
15	パラリンピック競技紹介⑫（ボート）	平成 30 年 6 月 15 日号
16	パラリンピック競技紹介⑬（パラ射撃）	平成 30 年 7 月 15 日号
17	パラリンピック競技紹介⑭（ウィルチェアーラグビー）	平成 30 年 8 月 15 日号
18	パラリンピック競技紹介⑮（シッティングバレーボール）	平成 30 年 9 月 15 日号
19	パラリンピック競技紹介⑯（パラ水泳）	平成 30 年 10 月 15 日号
20	パラリンピック競技紹介⑰（卓球）	平成 30 年 11 月 15 日号
21	パラリンピック競技紹介⑱（テコンドー）	平成 30 年 12 月 15 日号
22	パラリンピック競技紹介⑲（トライアスロン）	平成 31 年 1 月 15 日号
23	パラリンピック競技紹介⑳（車いすバスケットボール）	平成 31 年 2 月 15 日号
24	パラリンピック競技紹介㉑（車いすフェンシング）	平成 31 年 3 月 15 日号
25	パラリンピック競技紹介㉒（車いすテニス）	平成 31 年 4 月 15 日号
26	おさえておきたい！オリンピックのきほん	令和元年 5 月 15 日号
27	オリンピック競技紹介（野球／ソフトボール）	令和元年 6 月 15 日号
28	オリンピック競技紹介（空手）	令和元年 7 月 15 日号

29	オリンピック競技紹介（スケートボード）	令和元年 8 月 15 日号
30	オリンピック競技紹介（スポーツクライミング）	令和元年 9 月 15 日号
31	オリンピック競技紹介（サーフィン）	令和元年 10 月 15 日号
32	オリンピック競技紹介（体操・陸上競技・ボクシング）	令和元年 11 月 15 日号
33	オリンピック競技紹介（自転車競技・ウエイトリフティング・柔道）	令和元年 12 月 15 日号
34	オリンピック競技紹介（フェンシング・テコンドー・レスリング）	令和 2 年 1 月 15 日号
35	オリンピック競技紹介（近代五種・ボート・カヌー）	令和 2 年 2 月 15 日号
36	オリンピック競技紹介（セーリング・トライアスロン・水泳）	令和 2 年 3 月 15 日号
37	オリンピック競技紹介（アーチェリー・射撃・ゴルフ）	令和 2 年 4 月 15 日号
38	オリンピック競技紹介（ホッケー・バスケットボール・バレーボール）	令和 2 年 5 月 15 日号
39	男女共同参画週間 特別号①	令和 2 年 6 月 1 日号
40	オリンピック競技紹介（サッカー・ハンドボール・ラグビー）	令和 2 年 6 月 15 日号
41	オリンピック競技紹介（テニス・卓球）	令和 2 年 7 月 15 日号
42	オリンピック競技紹介（バドミントン・馬術）	令和 2 年 8 月 15 日号
43	東京 1964 大会	令和 2 年 9 月 15 日号
44	東京 2020 マスコット	令和 2 年 10 月 15 日号
45	東京 2020 スポーツピクトグラム	令和 2 年 11 月 15 日号
46	障害者週間 特別号	令和 2 年 12 月 1 日号
47	2020 はむらサポーター	令和 2 年 12 月 15 日号
48	聖火リレーとボランティア	令和 3 年 1 月 15 日号
49	ボッチャはむら大会	令和 3 年 2 月 15 日号
50	羽村市ゆかりのオリンピック①	令和 3 年 3 月 15 日号
51	羽村市ゆかりのオリンピック②	令和 3 年 4 月 15 日号
52	東京 2020 オリンピック聖火リレー	令和 3 年 5 月 15 日号
53	男女共同参画週間 特別号②	令和 3 年 6 月 1 日号
54	ホストタウン情報①	令和 3 年 6 月 15 日号
55	ホストタウン情報②	令和 3 年 7 月 15 日号
56	東京 2020 パラリンピック聖火リレー	令和 3 年 8 月 15 日号
57	最終号 東京 2020 大会閉幕	令和 3 年 9 月 15 日号

■ 東京 2020 公認プログラム認証事業

東京 2020 公認プログラムとして、羽村市では文化事業・スポーツ事業を中心に申請をし、合計 167 件の事業が認証されました。

平成 28 年度 東京 2020 公認プログラム認証事業一覧		【3件】
	事業名	分野（テーマ）
1	第 47 回羽村市文化祭	文化
2	平成 28 年度伝統文化交流事業 in ゆとろぎ『石見神楽公演』	文化
3	第 30 回羽村市ふれあい綱引き大会	スポーツ・健康

平成 29 年度 東京 2020 公認プログラム認証事業一覧		【18件】
	事業名	分野（テーマ）
1	第 48 回羽村市総合体育大会	スポーツ・健康
2	オリンピック・パラリンピックに向けた“おもてなし講座”「あいさつと道案内の英語入門」	オールジャパン・世界への発信
3	平成 29 年度伝統文化交流事業 in ゆとろぎ『越中八尾おわら風の盆と西多摩の郷土芸能』	文化
4	第 2 回 HAMURA メリーリボン演劇祭	文化
5	第 48 回羽村市文化祭	文化
6	第 1 回国際理解講座「好奇心から始まる国際理解」	オールジャパン・世界への発信
7	東京 2020 パラリンピック を応援しよう！1000 日前ウィーク in 羽村 ①「パラリンピアン 根本慎志氏 車椅子バスケットボール体験会&トークショー」 ②「パラリンピック写真家 清水一二氏 報道写真展」	オールジャパン・世界への発信
8	【投票宣言】羽村市は、投票に参加します（マスコット投票宣言）	教育
9	杏林大学学生連携講座「日本が誇る世界遺産～意外と知らない日本の魅力再発見講座」	文化
10	杏林大学学生連携講座「競技かるたでつなぐ地域の輪～老若男女で学ぶ競技かるた講座」	文化
11	第 35 回小学生ドッジボール大会	スポーツ・健康
12	多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業 はじめようスポーツ！「障害者スポーツのススメ」	スポーツ・健康
13	平成 29 年度伝統文化交流事業 in ゆとろぎ 熊本・岩手災害復興支援公演「山鹿灯籠・中野七頭舞」	文化
14	羽村市男女共同参画講演会「今を受け入れ、今を越える。～出会い、そして挑戦～」	スポーツ・健康
15	東京都綱引連盟会長杯争奪 第 31 回羽村市ふれあい綱引き大会	スポーツ・健康
16	吉川潔 木彫・陶彫作品展	文化
17	平成 29 年度羽村市市民大学講座「世界自然遺産 小笠原を知る」	文化
18	平成 29 年度四季のウォーク・Ⅱ	スポーツ・健康

平成 30 年度 東京 2020 公認プログラム認証事業一覧		【37 件】
	事業名	分野（テーマ）
1	第 49 回羽村市総合体育大会	スポーツ・健康
2	羽村市生涯学習まちづくり出前講座 パラスポーツ「ボッチャ（簡易版）」を体験してみよう！	スポーツ・健康
3	日本の近代文学「明治の文豪から・・・島崎藤村」	文化
4	第 37 回羽村市高齢者レクリエーションのつどい	スポーツ・健康
5	平成 30 年度伝統文化交流事業 in ゆとろぎ「越中八尾おわら風の盆と西多摩の郷土芸能」	文化
6	第 38 回羽村市障害者スポーツ・レクリエーションのつどい	スポーツ・健康
7	杏林大学公開講演会「ことばの能力～日本語再考」	文化
8	式町水晶サマーコンサート～ハンディを乗り越えた感動のヴァイオリニスト～	文化
9	市民活動講座「外国人おもてなし語学ボランティア」育成講座	オールジャパン ・世界への発信
10	国際理解講座「世界最小の国～バチカンを知る」	オールジャパン ・世界への発信
11	第 3 回 HAMURA メリーリボン演劇祭	文化
12	東京 2020 パラリンピックを応援しよう！2 年前イベント in 羽村	オールジャパン ・世界への発信
13	日本史講座「百姓から見た戦国大名」	文化
14	多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業 はじめようスポーツ！「歩くことからはじめよう」	スポーツ・健康
15	平成 30 年度四季のウォーク「I」 ※開催中止	スポーツ・健康
16	先端テクノロジー講座「ここまできた機械翻訳！・・・ことばの壁を乗り越える」	経済 ・テクノロジー
17	企画展示「オリンピック・パラリンピック」と「おもてなし」	教育
18	第 49 回羽村市文化祭	文化
19	多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業 スポーツをしよう！小・中学生「走り方教室」	スポーツ・健康
20	第 49 回羽村市文化祭特別企画「ゆとろぎオペラ『魔笛』」	文化
21	多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業 はじめようスポーツ！「障害者スポーツのススメ」	スポーツ・健康
22	第 4 回羽村市史関連講座「羽村市域の江戸時代を見直す」	文化
23	ゆとろぎ市民大学講座「ホスピタリティ・コミュニケーション講座～おもてなしの心を学ぶ」	文化
24	第 36 回小学生ドッジボール大会	スポーツ・健康
25	杏林大学学生連携企画講演会「西郷隆盛の人生～『西郷どん！』と『西郷どん』原作と大河ドラマの比較から～」	文化
26	パパ・ママ講座～家族で楽しむ親子遊び&パパがチャレンジ？！クリスマス料理～	街づくり
27	国際理解講座「訪日外国人から見た隠れた日本の魅力」	オールジャパン ・世界への発信
28	平成 30 年度伝統文化交流事業 in ゆとろぎ「御嶽神楽展」	文化

29	平成 30 年度伝統文化交流事業 in ゆとろぎ「御嶽神楽公演」	文化
30	平成 31 年羽村市成人式	文化
31	第 21 回羽村市地域教育シンポジウム	教育
32	東京都綱引連盟会長杯争奪 第 32 回羽村市ふれあい綱引き大会	スポーツ・健康
33	羽村市家庭教育セミナー（親学）「愛情ギュッと！親子でコミュニケーション」	教育
34	平成 30 年度羽村市防災週間	街づくり
35	平成 30 年度四季のウォーク「Ⅱ」	スポーツ・健康
36	ゆとろぎ市民大学講座「楽しく学ぶ中国」	オールジャパン・世界への発信
37	平成 30 年度羽村市健康・スポーツフォーラム	スポーツ・健康

令和元年度 東京 2020 公認プログラム認証事業一覧		【57 件】
	事業名	分野（テーマ）
1	羽村市生涯学習まちづくり出前講座 パラスポーツ「ボッチャ（簡易版）」を体験してみよう！	スポーツ・健康
2	平成 31 (2019) 年度東京 2020 大会 PR 業務（羽村市内ブース出展・展示）	スポーツ・健康
3	第 50 回羽村市総合体育大会	スポーツ・健康
4	「テレビ寺子屋」公開録画～チベット人歌手バイマーヤンジンさんと考える子育てや家族のあり方～	文化
5	多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業 はじめようスポーツ！小・中学生「走り方教室」	スポーツ・健康
6	東京五輪音頭-2020- 踊り方講習会	街づくり
7	ゆとろぎ文学講座 日本の近代文学「明治の文豪から・・・夏目漱石」	文化
8	2020 はむらサポーター	スポーツ・健康
9	第 38 回羽村市高齢者レクリエーションのつどい	スポーツ・健康
10	平成 31 年度伝統文化交流事業 in ゆとろぎ「越中八尾おわら風の盆と西多摩の郷土芸能」	文化
11	第 39 回羽村市障害者スポーツ・レクリエーションのつどい	スポーツ・健康
12	人形劇「河の童ーかわのわっぱー」	文化
13	市民活動講座「外国人おもてなし語学ボランティア」育成講座	オールジャパン・世界への発信
14	第 4 回 HAMURA メリーリボン演劇祭	文化
15	企画展示「オリンピック・パラリンピック」と「キルギス共和国」 1 Year to Go! ～東京 2020 開催まであと 1 年！～	教育
16	ゆとろぎ市民講座「美術鑑賞のすすめ 美術館の視点からアートを学ぼう！」	文化
17	キルギス共和国男子柔道ナショナルチームによる「2019 世界柔道選手権」事前キャンプ 受入れ事業	スポーツ・健康
18	羽村市・キルギス共和国友好親善公演～草原の風を感じて～	文化
19	ゆとろぎ市民講座「今知りたいラグビー～ラグビー観戦のポイントを知る～」	スポーツ・健康

20	ゆとろぎ市民講座「南極観測隊の生活～調理隊員から学ぶ生活の知恵」	持続可能性
21	世界の文化講座「キルギス共和国の食文化を知ろう！」	オールジャパン ・世界への発信
22	杏林大学公開講演会「龍馬の夢を挫いた男～勝海舟に届いた手紙」	文化
23	令和元年度多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業 はじめようスポーツ！「歩くことから始めよう」	スポーツ・健康
24	東京 2020 大会を応援しよう！1 年前イベント in 羽村	オールジャパン ・世界への発信
25	「50 歳から始める和太鼓講座」	文化
26	令和元年度四季のウォーク「Ⅰ」	スポーツ・健康
27	第 50 回羽村市文化祭	文化
28	国際理解講座「情熱の国～スペインを知る」	オールジャパン ・世界への発信
29	世界の文化講座「キルギス共和国のおいしい料理を作ろう！」	オールジャパン ・世界への発信
30	第 72 回羽村市市民体育祭へのオリンピック・パラリンピアン等招致事業 ※中止	スポーツ・健康
31	羽村市文化祭第 50 回記念特別企画「文化講演会」キルギス共和国を知る～キルギス共和国の人々と暮らし～	文化
32	第 50 回記念羽村市文化祭特別企画「ゆとろぎオペラ『カルメン』」	文化
33	令和元年度女性のキャリアデザイン支援講座および女性のチャレンジ支援講座	教育
34	多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業 はじめようスポーツ！「障害者スポーツのススメ」	スポーツ・健康
35	多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業 スポーツしよう！小・中学生「フィジカルトレーニング（体幹）教室」（競技力向上編）	スポーツ・健康
36	羽村市こころの健康セミナー「SOS を上手にキャッチするコツとは～こころの病気や悩みを抱えた方からの相談に寄り添うために～」	スポーツ・健康
37	令和元年度みんなで楽しむ子育て講座 ファミリー★クリスマス～親子でたっぷり遊んだら、パパの手作り料理を食べよう～	街づくり
38	国際派人気女声アンサンブル Solo-Ensemble Viebarto クリスマスコンサート～華麗なる歌声と名曲とともに～	文化
39	東京 2020 大会の成功に向けた区市町村ボランティア	オールジャパン ・世界への発信
40	杏林大学学生連携企画講演会「1964 年と 2020 年の東京オリンピック・パラリンピックの比較」	教育
41	第 5 回羽村市史関連講座「羽村の中世～阿蘇神社出土の瓦から探る～」	文化
42	第 35 回「女と男、ともに織りなすフォーラム in はむら」私らしい生き方～囃家・妻・母 三足のわらじ～	教育
43	第 37 回小学生ドッジボール大会	スポーツ・健康
44	世界史講座「古代ギリシャをひもとく」	オールジャパン ・世界への発信
45	伝統文化交流事業 in ゆとろぎ 岩手で受け継がれる祈りの舞鬼剣舞・獅子躍・念仏剣舞	文化
46	令和 2 年羽村市成人式	文化
47	第 22 回羽村市地域教育シンポジウム	教育
48	令和元年度羽村市スポーツリーダー養成講習会	スポーツ・健康
49	羽村市家庭教育セミナー（親学）AI 時代に生きる子どもたちの『才能』を引き出す魔法の言葉～2020 年以降の教育にも対応する方法～	教育
50	東京都綱引連盟会長杯争奪 第 33 回羽村市ふれあい綱引き大会	スポーツ・健康

51	令和元年度羽村市健康スポーツフォーラム「よくわかる、知って得する！糖尿病のはなし～糖尿病を知って、生活習慣病を予防しよう～」	スポーツ・健康
52	情熱のフラメンコ in ゆとろぎー魂の響きー	文化
53	先端テクノロジー講座「AI（人工知能）抜きには生活できない・・・AIを知ろう」	経済 ・テクノロジー
54	羽村市生涯学習センターゆとろぎ事業「阿山隆之の世界展」 ※一部開催中止	文化
55	令和元年度羽村市防災週間 ※中止	街づくり
56	第38回羽村市駅伝大会へのオリンピック招致事業 ※中止	スポーツ・健康
57	令和元年度四季のウォーク「Ⅱ」 ※開催中止	スポーツ・健康

令和2年度 東京2020公認プログラム認証事業一覧		【38件】
	事業名	分野（テーマ）
1	羽村市生涯学習まちづくり出前講座 パラスポーツ「ボッチャ（簡易版）」を体験してみよう！	スポーツ・健康
2	東京2020大会の成功に向けた区市町村ボランティア ※活動中止	オールジャパン ・世界への発信
3	第51回羽村市総合体育大会	スポーツ・健康
4	2020はむらサポーター ※活動中止	スポーツ・健康
5	令和2年度伝統文化交流事業 in ゆとろぎ「越中八尾おわら風の盆と西多摩の郷土芸能」 ※開催中止	文化
6	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連展示	教育
7	令和2年度伝統文化交流事業 in ゆとろぎ「羽村の祭囃子～伝承される羽村の芸～」 ※開催中止	文化
8	ゆとろぎ文学講座 日本の近代文学「明治の文豪から・・・森鷗外」	文化
9	増田明美 親子ふれあいスポーツ教室	スポーツ・健康
10	ゆとろぎ市民講座「美術鑑賞のすすめ 自分なりの見方でアートを楽しもう！」	文化
11	令和2年度四季のウォーク「Ⅰ」 ※開催中止	スポーツ・健康
12	左手のピアニスト 智内威雄～心に響く命の音～	文化
13	企画展示「オリンピック・パラリンピック」と「おもてなし」	教育
14	令和2年度多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業 はじめようスポーツ！「歩くことから始めよう」	スポーツ・健康
15	令和2年度東京2020大会PR業務（羽村市内ブース出展）	スポーツ・健康
16	栗コーダーカルテットコンサート	文化
17	令和2年度多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業 はじめようスポーツ！「障害者スポーツのススメ」	スポーツ・健康
18	キルギス共和国男子柔道ナショナルチームキルギス国歌でおもてなし事業	オールジャパン ・世界への発信
19	日本史講座「明智光秀と本能寺の変」	文化
20	ユルタ組立て・解体ワークショップ	オールジャパン ・世界への発信

21	キルギス共和国関連展示	オールジャパン ・世界への発信
22	令和2年度多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業 スポーツしよう！小・中学生「フィジカルトレーニング（体幹）教室」（競技力向上編）	スポーツ・健康
23	令和2年度多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業 はじめようスポーツ！小・中学生「走り方教室」	スポーツ・健康
24	ポールウォーキング教室	スポーツ・健康
25	令和3年羽村市成人式 ※開催中止	文化
26	キルギスフェスティバル in はむら ※開催中止	オールジャパン ・世界への発信
27	東京2020大会を応援しよう！半年前イベント in 羽村 オリンピアン千葉真子さん講演「命を輝かす人間」	スポーツ・健康
28	第6回羽村市史関連講座「羽村の民俗 ー変わる民俗と変わらない民俗ー」 ※会場での開催中止	文化
29	杏林大学公開講演会「運動の魅力と効能～自分の体と仲良くして充実した人生を送るために～」	スポーツ・健康
30	先端テクノロジー講座「驚くべき携帯電話の進化…モバイル通信の歩みと5G」 ※開催中止	経済 ・テクノロジー
31	東京五輪音頭-2020- 踊り方講習会 ※開催中止	街づくり
32	羽村市家庭教育セミナー おうちで伝える性のおはなし～からだのこと、性のこと、ネットのこと、親から子へどう伝える？～	教育
33	令和2年度羽村市防災週間	復興
34	国際理解講座「アフリカ現代美術から迫るアフリカの社会と文化」	文化
35	令和2年度伝統文化交流事業 in ゆとろぎ はじめてでも楽しめる！やさしい歌舞伎公演	文化
36	令和2年度四季のウォーク「Ⅱ」	スポーツ・健康
37	オリンピック・パラリンピック競技紹介 小冊子作成	教育
38	ウズベキスタンの民族舞踊ステージ～シルクロードの風を感じて～	文化

令和3年度 東京2020公認プログラム認証事業一覧		【14件】
	事業名	分野（テーマ）
1	羽村市生涯学習まちづくり出前講座 パラスポーツ「ボッチャ（簡易版）」を体験してみよう！	スポーツ・健康
2	東京2020大会の成功に向けた区市町村ボランティア	オールジャパン ・世界への発信
3	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連展示	教育
4	令和3年度東京2020大会PR業務（羽村市内ブース出展） ※中止	スポーツ・健康
5	オリンピック・パラリンピック競技紹介 小冊子作成	教育
6	羽村市制施行30周年記念事業 第52回羽村市総合体育大会	スポーツ・健康
7	2020 はむらサポーター ※一部活動中止	スポーツ・健康
8	東京五輪音頭-2020- 踊り方講習会 ※開催中止	街づくり
9	令和3年度多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業 はじめようスポーツ！小・中学生「走り方教室」 ※開催中止	スポーツ・健康

10	ゆとろぎ文学講座 日本の近代文学「女性文豪から・・・与謝野晶子」	文化
11	羽村市制施行 30 周年記念事業 令和 3 年度伝統文化交流事業 in ゆとろぎ「越中八尾おわら風の盆と西多摩の郷土芸能」 ※開催中止	文化
12	キルギス共和国男子柔道ナショナルチームを応援しよう！キルギス国歌の練習会	オールジャパン ・世界への発信
13	第 6 回 HAMURA メリーリボン演劇祭	文化
14	羽村市 2020 柔道応援事業 in 日本武道館 ※中止	スポーツ・健康

■ 広域連携

東京 2020 大会に関連した広域連携について、積極的に取り組みました。

1	多摩地域 26 市	東京都市オリンピック・パラリンピック連絡協議会 東京都市オリンピック・パラリンピック連絡調整担当課長会 東京 2020 大会の開催準備に向けた 26 市と東京都等関係機関との連絡調整を図ることを目的とした会議体。 【平成 27 年 11 月設置】	設置までの準備について、全 26 市の中心となり調整。
2	多摩地域 30 市町村	多摩地域オリンピック・パラリンピック担当者交流会 東京 2020 大会に関する多摩地域全体での気運醸成や広域連携等を目的とした担当者による組織。 【平成 28 年 11 月発足】	発足や勉強会開催について、発起人として全 30 市町村の中心となり調整。
		東京都市町村ポッチャ大会実行委員会（東京都市町村ポッチャ大会開催） 東京 2020 大会を契機とした多摩広域連携事業である東京都市町村ポッチャ大会を実施することを目的とした会議体。 【平成 31 年 2 月設立】	連携事業の検討から設置までの準備について、発起人として全 30 市町村の中心となり調整。
3	西多摩地域 8 市町村	アメリカ合衆国を相手国としたホストタウン登録に向けた取り組み 登録には至らなかったが、内閣官房に対し、西多摩広域連携によるホストタウン登録申請を 2 回実施。 【平成 29 年 5 月申請、平成 30 年 3 月申請】	西多摩地域広域行政圏協議会による申請について、構成市として協力。
		西多摩地域オリンピック・パラリンピック担当者会議 東京 2020 大会関連事業等に関する 8 市町村における連絡調整や情報交換等を目的とした担当者による会議体。 【平成 30 年 7 月発足】	発足や開催について、発起人として全 8 市町村の中心となり調整。
		西多摩フェアにおけるオリンピック・パラリンピック関連ブース出展 東京 2020 大会に関する西多摩広域連携事業である西多摩フェアにおけるブース出展を 2 回実施。 【平成 30 年 7 月実施、令和元年 6 月実施】	検討から実施まで、発起人として全 8 市町村の中心となり調整。
4	キルギス共和国のホストタウン 3 自治体（高知県、羽村市、山梨市）	キルギス共和国のホストタウン 3 自治体による連携した取り組み 連携した取組みの実施には至らなかったが、事前キャンプ受入れを始めとしたホストタウン関連事業について情報交換等を実施。	ホストタウン登録以前から、3 自治体の中心となり情報交換等を実施。

編集後記

東京 2020 大会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、異例づくめの開催となり、羽村市においても、開催年度に予定していた多くの関連事業が中止となってしまいました。

しかし、招致決定後、いち早く東京 2020 大会に向けた取組みを開始したことにより、大会気運の醸成や市民意識の高揚を図ることができ、一定の成果を得られたものと捉えています。

特に、事前キャンプについては、これまでに 2 回、キルギス共和国男子柔道ナショナルチームを羽村市で受け入れ、交流事業も実施することができました。また、聖火リレーに関しては、令和 2 年 2 月に聖火リレーリハーサルが羽村市内で実施され、オリンピック・パラリンピックを身近に感じていただくとともに、羽村市を国内外に P R することができました。

これらの取組みについては、残念ながら開催年度では中止となってしまいましたが、市民の皆さんの記憶の中にレガシーとして残ることを願っています。

また、パラスポーツの普及についても力を入れて取り組んできた活動であり、特にボッチャについては、多くの市民の皆さんに知っていただき嬉しく思っています。

本報告書は、数年に渡るこれらの市の取組みを取りまとめたものであり、次世代につながるものになれば幸いです。

これまでの取組みにご協力をいただいた多くの皆さんに、改めて感謝を申し上げます。

羽村市 企画総務部

東京オリンピック・パラリンピック準備室

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 羽村市取組報告書

編 集 羽村市 企画総務部
東京オリンピック・パラリンピック準備室
発 行 令和 3 年 12 月
東京都 羽村市
〒205-8601 羽村市緑ヶ丘 5-2-1
電話 042-555-1111

※ 本報告書は、東京都市長会の東京 2020 オリンピック・パラリンピック
競技大会機運醸成等事業助成金を活用して作成しました。



市民の皆さんの思いが込められた応援メッセージブックのポスター版



キルギス共和国男子柔道ナショナルチームと羽村市柔道会の皆さん